



霞台小だより

ひばり

令和4年5月31日 発行
青梅市立霞台小学校
校長 佐藤 広明
No. 667

不便でよいこと、不便でなくてはならないこと

校長 佐藤 広明

早朝、ラジオからおもしろそうな話が聞えてきました。キーワードは「不便益」です。目を覚まして興味深く続きを聴いてしまいました。

世の中便利なことはもちろんよいことですが、不便なことでよいことや不便でなくてはならないものがあるという考え、発想です。

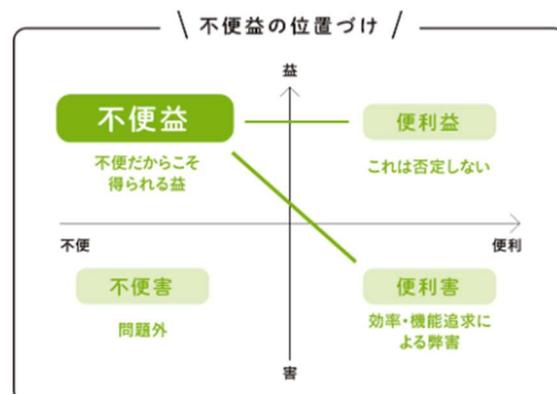
お話しされていた、京都大学・京都先端科学大学 川上浩司教授のHP「不便益システム研究所」には、なるほどと思うことがたくさん書かれていました。HPの不便益の一部を紹介します。(中学校1年生国語の教科書には「『不便の価値』を見直す」の題で川上教授の意見文が教材になっています。)

- ・富士山の頂上に登るのは大変だろうと、富士山の頂上までエレベーターを作ったら、どうでしょう。よけいなお世話というより、山登りの本来の意味がなくなります。
- ・ヒットを打てるように練習するのは大変だろうと、だれでも必ずヒットの打てるバットを作ったら、どうでしょう。これも同じですね。
- ・私が子供の頃、遠足のおやつは300円以内でした。もし、自由に好きなだけおやつを持ってきて良かったとしたら、どうでしょう？遠足前日に半日をつぶしてスーパーをうろつき、自分ならではの組み合わせを考え抜いたのは、今思えば楽しい思い出です。

苦勞したり努力したりすることで得られるよさを、人は求めたり有益と思えることが世の中にはたくさんあるのです。

学校は正にたくさんの不便益を実体験して成長する場であるのかもしれませんが。何度もドリル問題に取り組んだり(繰り返すことで理解を確実にできる、自信をもてる)、自分たちで掃除をしたり(きれいな環境をつくること
のよさを実感できる、ほうきや雑巾の正しい使い方を身に付けることは様々なことに応用できる)、クラスでのトラブルや課題に遭遇したり(トラブルや課題がないのが一番ですが、トラブルや課題を解決する過程で学ぶことがある)等、苦勞や努力が成果や成就感につながるものがたくさんあります。

ぜひ、自分のいろいろな不便を考え、その場だけでではない長期的な部分で益につながるものごとを考えてみてはどうでしょうか。



<HP「便利な社会に不便益のアイデアを」川上教授>

6月の主な行事予定【授業日数22日】					
日	曜	行 事 保健行事(ゴシック表示)	日	曜	行 事 保健行事(ゴシック表示)
1	水	開校記念日 体カテスト始 ふれあい月間始 短縮時程	17	金	たてわり集会 音楽鑑賞教室(5年) 家庭学習週間終
2	木	委員会活動 交通公園(3年)	18	土	
3	金	体カテスト終	19	日	
4	土	学校公開日 短縮時程 給食無	20	月	全校朝会
5	日		21	火	移動教室前事前検診(5年)
6	月	振替休業日	22	水	短縮時程
7	火	学力向上を図るための調査(5年) 短縮時程	23	木	御岳自然教室(5年) クラブ委員会なし
8	水	短縮時程 家庭学習週間始	24	金	御岳自然教室(5年) 租税教室(6年) 読書週間終
9	木	避難訓練 クラブ委員会なし 短縮時程	25	土	
10	金	安全指導 理科社会科見学(4年)	26	日	
11	土		27	月	全校朝会
12	日		28	火	
13	月	全校朝会 読書週間始 尿検査3次 たてわり遊び たてわり掃除	29	水	短縮時程
14	火	水泳指導始 短縮時程	30	木	委員会活動 ふれあい月間終
15	水	学力向上を図るための調査(4年) 短縮時程 体カテスト予備期間(~17)			
16	木	クラブ活動			

水泳指導を開始します

プールの修繕の件で、ご心配おかけしましたが、工事は順調に進んでおり、6/14~7/19の期間に霞台小学校のプールで水泳指導を実施します。別紙案内の通りご対応よろしくお願ひします。



霞台小学校HP

夏季休業中のサマースクールについて(補充学習)

夏季休業中のサマースクールは、算数及び国語の基礎基本の定着を目的に実施していきます。本年度は1学期の学習状況を踏まえ、7月に児童、保護者に声を掛ける形で実施します。ご理解ご協力よろしくお願ひします。

学校でのマスクの着用について

文科省から学校でのマスクの取り扱いについての通知がでました。霞台小が現在対応していることと内容は一致していますが、再度対応についてお知らせします。

○体育の授業は、屋内外に関わらずマスクの着用を必要としません。指導中、身体的距離を確保し、感染防止策をとります。なお、マスク着用を希望する児童には、負荷を下げた部分の参加をさせるように対応します。

○中休みの外遊びや理科園での観察なども、身体的距離を取ることでマスクの着用を必要としません。

○登下校では、身体的距離を確保し、会話を控えた状況ではマスクの着用を必要としません。特に今後暑さが厳しくなる中では、マスクを外し登下校することを推奨します。

○校舎内での学習活動については、今まで通りマスク着用を基本に状況に応じた対応をしていきます。

学級では担任からマスクの着用について子どもたちに話をし、マスクの使用についてひとりひとりがしっかりと考えて対応できるようにしていきます。ご家庭でも確認お願ひします。